

障害者の安楽死計画と ホロコースト ナチスの忘れ去られた犯罪

12月
発刊

スザンヌ・E エヴァンス 著 黒田学・清水貞夫 監訳 A5判 2200円+税

ヒトラーの秘密命令書により、価値のない命として、数十万人の障害児者を殺戮した安楽死計画。ナチスが絶滅の対象とした最初の人々は、障害のある子ども、人たちであり、それはユダヤ人等への大量虐殺、ホロコーストへの序章であった。昨年の「津久井やまゆり園」での障害者殺傷事件の本質を考え、ナチスの安楽死計画の背後にある優生思想、排外主義への闘い、誰も排除しない社会の構築に挑む。

「世界の特別ニーズ教育と社会開発」シリーズ

完結

1 ロシアの障害児教育・インクルーシブ教育 1600円+税

2 ヨーロッパのインクルーシブ教育と福祉の課題 2000円+税

3 スペイン語圏のインクルーシブ教育と福祉の課題 2000円+税

4 アジア・日本のインクルーシブ教育と福祉の課題 2400円+税

黒田学◆編

『障害者の安楽死計画とホロコースト——ナチスの忘れ去られた犯罪』
研究叢書「世界の特別ニーズ教育と社会開発」シリーズ全4巻

刊行記念
公開研究会

障害者の尊厳と 優生思想と障害者教育・福祉施策 インクルーシブ社会構築の課題

日時:2017年12月3日(日) 13:30~17:00

場所:キャンパスプラザ京都6階 第1講習室 (立命館大学)

基調報告:黒田 学(立命館大学)

話題提供①「出生前診断、優生思想と障害者」 平沼博将(大阪電気通信大学)

話題提供②「重症心身障害児のケアと障害者の尊厳」 田村和宏(立命館大学)

話題提供③「障害者雇用をめぐる包摂と排除」 小西豊(岐阜大学)

指定討論:清水貞夫(宮城教育大学名誉教授)

予約方法:メール kuroda@fc.ritsumei.ac.jp

要予約

締切(先着順)
11月28日(火)まで